

アジア地域の大学生や若手教員を対象として、日本の技術を肌で感じていただく日本科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプラン」に法政大学が応募し、2019年3月5日から10日にかけて日本の技術を体験され交流が図られました。

2019年3月7日、当社千葉工場で、法政大学の森教授をはじめとした方々に引率されホーチミン工科大学(ベトナム)とスラバヤ工科大学(インドネシア)の学生及び若手教員など計16名の皆さんが、橋梁に関する講義受け、工場を見学し、溶接を実習するなど橋梁技術の体験交流研修が行われました。

